

# 「健康経営銘柄2019」の選定方法について

➤ 健康経営度調査回答企業の中から、以下の流れで健康経営銘柄2019を選定。

「健康経営銘柄」

「健康経営」に優れた企業

「平成30年度健康経営度調査」  
に回答した企業

東京証券取引所上場会社

＜平成30年11月～12月＞

東証による「財務指標スクリーニング」等の実施

財務指標による一定のスクリーニング等を行った上で、「健康経営銘柄2018」を選定。

- ROE（自己資本利益率）の直近3年間平均が**0%以上**の企業を対象とし、**ROEが高い企業には一定の加点**を行う。
  - **昨年度回答企業に対しても一定の加点**を行う。
  - **社外への情報開示の状況**についても評価を行う。
- \* 33業種毎原則1社の選定を予定（最大で33社となるが、該当企業がない場合、その業種からは非選定）。
- \* **各業種最高順位企業の平均より優れている企業についても銘柄として選定。**

\* TOKYO PRO Market上場会社は対象外。

＜平成30年10月～11月＞

回答結果を元に、健康経営度が上位20%に入り、かつ、必須項目をすべて満たしている企業を銘柄選定企業候補として選定

\* 重大な法令違反等がある場合には選定しない。

＜平成30年8月～10月＞

「平成30年度健康経営度調査」の実施

経済産業省が、従業員の健康管理に関する取組やその成果を把握するためのアンケート調査を実施。